

SOG制御器の制御電源電流について

下表に弊社が近年販売しておりますSOG制御器の制御電源電流値及び、P1－P2間の抵抗値を記載します。

種類	形式		制御電源AC100V 時の電流値	P1－P2間の抵抗値 (直流抵抗値)
方向性	ODG－S6形	常 時(※2)	約 8mA 約 17mA	約5.5MΩ
		動作時(※2)	約 17mA 約 38mA	
	ODG－S3形 (S3－B形)	常 時	約 38mA	約250Ω
		動作時	約 44mA	
	ODG－S2A形 (S2A－B形)	常 時	約 38mA	約250Ω
		動作時	約 44mA	
	ODG－TF1形 (TB1形)	常 時	約 22mA	約100Ω
		動作時	約 36mA	
	LDG－28D形 (28B形)	常 時	約 16mA	約200Ω
		動作時	約 26mA	
	ODG－S1A形 (F4形)	常 時	約 18mA	約250Ω
		動作時	約 33mA	
非方向性	OR－SOG6形	常 時(※2)	約 7mA 約 18mA	約5.3MΩ
		動作時(※2)	約 17mA 約 39mA	
	OR－SOG3形 OR－SOG5形	常 時	約 13mA	約650Ω
		動作時	約 26mA	
	OR－SOG－A形	常 時	約 23mA	約750Ω (約500Ω)(※1)
		動作時	約 32mA	

※1・・・動作表示器がマグサインの場合。

※2・・・交流の値は「実効値」で表すことになっていますが、テストでは「真の実効値 True RMS)」

【高周波成分を含んだ実効値を算出】と「平均値整流形(MEAN)」【歪のない正弦波として実効値を算出】の2通りの方法があり、スイッチング電源など、歪のある波形時に異なった測定値を示します。上表では上段が平均値整流形、下段が真の実効値の測定値を記載しています。

(※2)以外の形式についてはどちらの方法でもほぼ同じ値となります。